

# 豊かなブナ林

カヤの平等 生物群集保護林

所在地  
長野県栄村



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

## 設定目的

台倉山(一、八五三<sup>㍉</sup>)の東南斜面に広がるカヤの平一帯のブナ林は、典型的な日本海型ブナ植物群落です。

また、鳥甲山(二、〇三八<sup>㍉</sup>)は、東・南斜面が切り立った断崖状を成し、赤色の岩肌が露出した特異な景観を呈しており、周囲に亜高山性針葉樹林が広がるとともに、山頂付近には高山植物群落が分布しています。

この地域の貴重な森林生態系の保護・管理を図るため、保護林に設定しています。

## 地況・林況

カヤの平一帯及び鳥甲山の北西斜面には、ブナ、カンバ等から構成される広葉樹林やクロベ、コメツガ、オオシラビソ等から構成される亜高山針葉樹林となっています。山頂付近にはアズマシヤクナゲ、ツガザクラ、シラタマノキ等の高山植物が生育しています。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。